

〔8 月度例会〕 〔下水道のストックマネジメントについて〕
～ストックマネジメント手法を踏まえた下水道長寿命化計画策定に関する手引き（案）～
日時：2014 年 8 月 7 日 18:00～20:00 於：近畿本部会議室
講師：オリジナル設計株式会社 技術士 宮腰克樹氏

1. はじめに

下水道ストックは、昭和 40 年代から平成 10 年代に集中的に整備され、今後急速に老朽化することが見込まれる。その一方で、本格的な人口減少社会の到来による使用料収入の減少により、地方公共団体の財政状況は逼迫化しており、投資余力が減退の方向にある。以上のことから、維持管理から改築更新までのライフサイクルコストの低減化や、予防保全型施設管理の導入による安全の確保等、戦略的な維持管理・改築更新を行い、住民に対する良質な下水道サービス提供の持続性を確保することが重要であり、その推進に必要な人・物・金を最適にするためアセットマネジメントの導入が必要である。

これらの目的を果たすため、アセットマネジメントの内、施設管理のマネジメントであるストックマネジメント手法を踏まえた下水道長寿命化計画策定が必要となってきた。

ここでは、「ストックマネジメント手法を踏まえた下水道長寿命化計画策定手引き（案）」から、下水道のストックマネジメントについて紹介する。

2. スtockマネジメントの実施

下水道事業におけるストックマネジメントは、目標とする明確なサービス水準を定め、一連の下水道システムの全施設を対象として、その状態を点検・調査等によって客観的に把握、評価し、中長期的な施設の状態を予測しながら、維持管理、改築・修繕を一体的に捉えて下水道施設を計画的かつ効率的に管理するものである。

ストックマネジメントの実施では、リスク検討の実施や、健全度予測、LCC を考慮した最適シナリオの設定について紹介した。

3. 長寿命化計画の策定

それぞれの地方公共団体において現状導入できるレベルで実行し、その後、P D C Aにより施設情報の蓄積を図り、対象施設の拡大や想定によるリスク・健全度評価の精度向上を図り、ストックマネジメントのレベルアップを図っていくことが望まれている。

手引きを参考にしてストックマネジメントを導入し、下水道施設全体の将来的な改築事業量の平準化等を踏まえ、長寿命化計画を策定することが必要である。

4. おわりに

国土交通省では「下水道分野におけるアセットマネジメントの国際標準化規格である IS055000 適用ガイドライン検討委員会」を設置し、公募プロセスを経て選定された、地方公共団体(仙台市)、民間事業者(水 ing 株式会社)を対象に、我が国で初めてとなる IS055001 の施行認証を行っており、国際標準化の必要性が高まっている。